

PHJ メールニュース 2010年3月号
送信日時：2010年3月26日



PHJ メールニュース読者の皆様

東京では桜の開花が宣言され日ごとに暖かくなってきました。ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース 2010年3月号を配信いたします。

PHJ メールニュースは PHJ の活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メールでご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 3月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 日本製薬団体連合会へ PHJ の事業活動を紹介いたしました
- 1-2. 第 39 回運営委員会を開催いたしました
- 1-3. JustGivingJapan に参加いたしました
- 1-4. ホームページ PHJ の活動にベトナムのプログラムを追加しました
- 1-5. むさしの FM のラジオ番組に参加しました
- 1-6. 新しいスタッフが広報 Gr に加わりました

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. HOPE パートナー教育
- 2-2. HIV/AIDS 予防教育

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 助産診療センターの設立
- 3-2. 栄養教育活動

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 日本の医科大学生の訪問
- 4-2. 「安全なお産」支援募金

4-3. バライサントク母子保健改善事業

4-4. 中田所長のブログ

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 日本製薬団体連合会へ PHJ の事業活動を紹介いたしました

PHJ を発足当時から支援してくださっている日本製薬団体連合会の総務委員会総会が 3 月 2 日に開催され、PHJ は事業活動を紹介する機会を頂きました。タイ、インドネシア、カンボジアの現地代表による説明には出席された方々から感銘したとのコメントを頂き、数社が具体的に支援プランを申し出てくださっています。

1-2. 第 39 回運営委員会を開催いたしました

3 月 4 日に第 39 回運営委員会を開催しました。タイ、インドネシア、カンボジア、ベトナムでの 3 ヶ月の活動を現地の所長が報告いたしました。議事録はホームページの報告書をご覧ください http://www.ph-japan.org/report/committie_minutes.html

1-3. JustGiving Japan に参加いたしました

英国で作られた世界最大の寄付サイト「JustGiving」の日本版が 3 月 9 日に開設されました。チャリティー・プラットフォームが主催しているチャリナビ掲載団体である PHJ も新しいファンドレイジングの方法として活用いたします。

<http://justgiving.jp/npo/i/%E3%81%AF/?p=2>

1-4. ホームページ PHJ の活動にベトナムのプログラムを追加しました

ベトナムで展開している HIV/AIDS 感染予防教育を公開しました。

http://www.ph-japan.org/program/Vietnam/vietnam_HIV.html

1-5. むさしの FM のラジオ番組に出演しました

3 月 12 日 むさしの FM のラジオ番組「発信！わがまち・武蔵野人」にアジア発展途上国の人々の健康を支援する団体として PHJ の代表 木村、広報の矢崎、南部が出演しました。番組の内容についてはホームページの最新情報より視聴いただけます。

1-6. 新しいスタッフが広報 Gr に加わりました

広告会社で 10 年コピーライターの仕事をしていた南部道子が 3 月 1 日から広報 Gr に加わりました。各種プレゼンテーション、ホープニュース、ホームページなどで新しいアイデアと専門知識を発揮してくれることを期待しています。

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. HOPE パートナー教育

1998 年以来累計 199 名の障害児童を受け入れました。そのうち 116 名が卒業し、現在は 68 名の障害児を 69 名のドナーが支援しています。

障害児の親や家族が自宅で障害児をケアをできるように支援するために設立されたラーニングセンター（2009 年 12 月完成）は有効に利用されています。2 月には 81 名の親たちが家庭でできるプログラムを実習しました。

昨年 10 月から募集している「タイ 障害児支援募金」は 2 月末現在 50 人、2 社からのご協力により玩具セット小型 56、大型 4 セットをケアセンターやヘルスセンターに配布しました。

2-2. HIV/AIDS 感染予防教育

2 月にはマンガ技術大学(32 名)、マタスカ学校 (185 名)、チェンマイ大学(70 名)で小規模プログラムを実施し、整体研究所で 128 名のトレーニングを行ないました。パヤップ大学ではバレンタインのイベントとして学生、ピアリーダー1,000 名に教育を実施しました。

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 助産診療センターの設立

PHJ を支援してくださっているアステラス製薬株式会社はインドネシア、バンタン州、セラン県ポンタンレゴン村に助産診療センターを寄贈しました。現地でも 3 月 11 日式典が開催されました。PHJ のホームページ「企業による支援事例」もご覧下さい。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/corporate/titile_sponsor.html

3-2. 栄養教育活動

豆腐をつかった料理で競う村対抗メニューコンテストを実施しました。2 村 141 名が参加。採点のポイントは栄養、食材費、味。調理法に工夫が見られバラエティーのあるメニュー提案となりました。以前このプログラムを支援してくださった日本の食品会社の方が視察されました。次のテーマは「テンペ」（納豆）で 12 村で栄養教育、調理実習を予定しています。

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 日本の医科大学生の訪問

PHJのwebsiteに医科大学生からカンボジア事務所の母子保健活動を見学したいという申入れがあり中田所長が対応いたしました。「先日は大変お世話になりました。中田さんには大変親切にさせていただき、現場の人たちと実際に関わる場面も拝見いたしました。大変貴重な体験でした。学生の中にも母子保健の分野に興味を持っている方も多いのでPHJのことを学生の集まりなどでお話したいと思っています。」とお礼のメールをいただきました。

4-2. 「安全なお産」支援募金

2月15日ホームページで募金を開始しました。4月からはチラシで募集を行ないます。

4-3. バライサントク母子保健改善事業

ヘルスセンターと村とのネットワークはよくなっており、村での保健教育は2巡目に入り参加者を集めやすくなりました。2月には20村で実施し、1,177名が参加しました。

4-4. 中田所長のブログ http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

カンボジアの生活や習慣など現地の生の情報をご覧ください。

PHJ メールニュース 2010年3月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール
ニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2010 ピープルズ・ホープ・ジャパン
